



# 社協だより

## 205号

令和5年4月1日

発行  
社会福祉法人  
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180  
メイトム宗像2階  
TEL 0940-37-1300



つながれ  
ひろがれ  
地域福祉!  
シリーズ④⑥

## あなたらしい 暮らしのお手伝いを 心がけて



しのぎょし  
篠木潔弁護士を講師に迎え、  
“将来のための安全術”を学びました

### 社協職員と市民生活支援員の ライフサポート

ライフサポート事業では、判断能力が不十分な高齢者や障がいのある人で、日常生活に困っている人たちを支援しています。具体的には、福祉サービスや生活にかかわる相談、郵便物の管理、生活に必要な手続き、日常のお金の出し入れ、預貯金通帳の預かりなど、日々の生活に関わるお手伝いをしています。

平成25年8月から開始したライフサポート事業ですが、当初の利用者は10人程度でした。現在は、70人以上の利用者を社会福祉協議

会の職員と「市民生活支援員」でサポートしています。市民生活支援員は調停委員や民生委員児童委員

などの実務経験があり地域に暮らす住民として、利用者と同じ目線で考え相談し合える人たちです。

年1回、市民生活支援員を対象とした研修会「市民生活支援員のつどい」を開催しています。令和4年度は幸福学をテーマに学びを深め、参加した支援員からは「これからも利用者が笑顔で安心した生活が送られるように支援したい」との声が聞かれました。

今後も寄り添い、障がいがあっても尊厳のある自分らしい生活を続けられるよう、職員と市民生活支援員で利用者の生活を支援していきます。



社協職員と市民生活支援員で  
今日の支援内容を打ち合わせます



## いつ発生するか分からない自然災害に備えた準備を日ごろから 災害ボランティアセンター設置訓練

令和5年2月4日(土)にメイトム宗像にて宗像市災害ボランティアセンター設置訓練を行いました。当日は日本赤十字九州国際看護大学の教職員及び学生、宗像市職員、福岡県社会福祉協議会職員、宗像市社会福祉協議会役職員の総勢約60人が参加しました。

### 【災害ボランティアセンターとは】

大規模災害時において効果的なボランティア活動を推進するために、宗像市からの要請に基づき社会福祉協議会が災害ボランティアセンターの設置、運営を行います。

災害ボランティアセンターは、『被災者の要望(ニーズ)』と『被災者を支援したいボランティアの思い』の双方を『調整し、つなぐ』役割があります。具体的には、被災者の要望を個別に聞き取り、ボランティアの受付やボランティア活動の調整を行います。また関係機関と連携を図りながら、災害により失われた『地域のつながり』の再生に向けた取り組みも支援します。

### 【近年急増している自然災害】

福岡県内では、平成29年に朝倉市、東峰村を中心とした九州北部豪雨災害が発生し、のべ5万人を超えるボランティアが全国各地から集まり、災害ボランティアセンターも大きな役割を果たしました。その後

も福岡県内においては、災害ボランティアセンターが設置されるような大規模自然災害が5年続けて発生しました。近年は、コロナ禍によりボランティアの募集も居住地域を限定し、十分な人手を集めることが困難な状況が続いています。結果として復旧復興に時間を要することも増えています。このような状況でも、被災された方が1日でも早く元の生活に戻ることが出来るよう、地域住民、関係機関、団体、NPO、企業、学校等、地域の関係者が主体となった災害ボランティアセンターの役割はますます大きくなっています。

### 【日ごろから災害に備えた準備を】

自然災害に備えた取り組みは、全国的に進んでいます。護岸工事などのハード面の対策も一部実施され、災害時を想定した避難訓練や被災した実体験を後世に語り継ぐような活動もされています。宗像市においては、災害ボランティアセンターの設置が必要になるような大規模な自然災害は、これまで幸いにして発生していません。このような状況でも、市民のみなさんや関係機関と日ごろから顔の見える関係や連携を図りながら、社会福祉協議会としても今回のような訓練を積み重ね、自然災害に備えた取り組みを進めていきます。



災害ボランティアセンターの受付を開始します



スマートフォンを使ってQRコードでボランティア受付



活動に関わる注意事項の説明



挙手で自分の参加する活動が決まります



グループリーダーが1日の活動について報告します



グループごとに車両に乗り込み活動場所に向かいます



今回は「資材カード」を使って活動の道具を準備します



問い合わせ  
市社会福祉協議会  
☎(37)1300

- 利用対象 宗像市に在住、勤務、通学する  
おおむね5人以上の団体
- 費用 無料
- 開催日時 原則、月～土曜日の  
9:00～17:00
- 申込方法 開催希望2カ月前までに  
市社協に申し込む

## 認知症サポーター養成講座

受講者随時募集中!

認知症になっても安心して生活できる地域であるように、認知症を正しく理解する第一歩として「認知症サポーター養成講座」を実施しています。認知症サポーターとは、認知症の人やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で支援する応援者のことです。みなさんもサポーターになって、住みよいまちを一緒につくっていきませんか？

【認知症サポーター養成講座とは】  
認知症に対する理解を深める出前講座です。(全国キャラバン・メイト連絡協議会に登録された講師を派遣します。)

受講された方には、サポーターの証となる「認知症サポーターカード」を交付しています。



## こんなオレンジカフェが開かれています

昨年度は、市内各地でオレンジカフェが開かれました。認知症や物忘れに関心のある方ならどなたでも参加することができ、専門職による相談コーナーもあります。今年度も開催日時が決まり次第、市社協ホームページ等でお知らせします。



城西ヶ丘見守りネットワーク  
むすび愛による  
「オレンジカフェin城西ヶ丘」

### 【R4年度実施団体】

- 城西ヶ丘見守りネットワークむすび愛
- 自由ヶ丘第三区福祉会
- 自由ヶ丘「みなみ元気会」

- 福祉ボランティア 花いちもんめ
- 自由ヶ丘第二区福祉会
- 自由ヶ丘第一区福祉会 (1・6・7丁目、西町)
- さわやか宗像館

## 令和4年度をふり返って

### 【令和4年度開催数】

- オレンジカフェ…10回
- オレンジカフェ情報交換会…1回
- 認知症サポーター養成講座…19回
- 認知症サポーター養成講座  
ステップアップ研修…1回
- 本人ミーティングそれぞれ…12回

今年度も、ご本人や家族、ボランティア団体、認知症サポーターの皆さんとともに「認知症と診断されても、住み慣れたまちで今まで通り笑顔で暮らしたい。」という認知症のご本人や家族の思いを実現することを目標に、さまざまな取り組みを計画しています。また「自分にもできることはないか。」という方は、お気軽に市社協までご連絡ください。



## 毎月開催！～本人ミーティング それでいい！～ 本人さんとご家族のおしゃべりひろば

認知症等のある本人とご家族のみなさんが、思い思いに時間を過ごさずくばらんな集まり「本人ミーティング それでいい！」を毎月開催しています。申込みは不要です。どうぞお越しください。



和やかな雰囲気「それでいい！」

### 【開催日時】

- 日時 毎月第3金曜日の13:30～15:30
- 場所 メイトム宗像・会議室など
- 対象 物忘れに不安がある人、認知症と診断された本人やその家族
- 料金 無料
- その他 申し込み不要
- 問い合わせ先 市社会福祉協議会 ☎(37)1300

### 【今年度の日程】

4/21・5/19・6/16・7/21・8/18・9/15  
10/20・11/17・12/15  
令和6年 1/19・2/16・3/15

社会福祉法人  
**宗像市社会福祉協議会**  
宗像市久原180番地メイトム宗像内 ☎(37)1300  
大島支所 宗像市大島1809番地32ふれ愛センター内  
ホームページ <http://syakyo.munakata.com/>  
メール [info@syakyo.munakata.com](mailto:info@syakyo.munakata.com)  
☎(72)22994  
本会は、むなかつタウンプレスを旨にして「声の広報」活動を実施しています。

社協だよりは、偶数月発行です(年間6回)

### ～Newface～ 地域支え合い推進員紹介



河東地区担当  
伊藤 芳恵  
今年度より地域支え合い推進員になりました伊藤芳恵です。地域の皆さんと一緒に助け合い支え合い活動を広げていきたいです。



南郷・東郷地区担当  
上野 由美子  
今年度より地域支え合い推進員になりました上野由美子です。地域の皆さんとお話させていただけるのを楽しみにしています。

ようろしく  
お願いします！

### 令和5年度 手話講習会 受講者募集

日常生活で用いる手話を楽しく学べる講座です。指導者の中には聴覚に障がいのある人もいます。手話が初めてでも大丈夫な初心者コースです。手話を学んで、あなたの気持ちを伝えてみませんか？

コース開講日	時間	場所	指導グループ
土曜コース 4月8日スタート	13:00～15:00	メイトム宗像	手話サークル シュワッチ
火曜コース 4月11日スタート	19:00～21:00		
金曜コース 4月14日スタート	13:30～15:30	玄海 コミセン	玄海手話 サークルゆび

### ボランティアセンター通信

土日曜日 祝日を除く午前8時30分～午後5時  
〒818-0001 (37)4100 (4) (37)4101  
メールアドレス [v-net@syakyo.munakata.com](mailto:v-net@syakyo.munakata.com)  
ホームページ

### 【寄付】 ありがとうございます

【香典返し】(敬称略)  
 ・(故)安部一生(池田)  
 ・(故)村田良之(江口)  
 ・(故)佐藤美恵子(大島)  
 ・(故)石橋良枝(鐘崎)  
 ・(故)安部照生(河東)  
 ・(故)高橋彦次郎(池浦)  
 ・(故)船越實夫(大島)  
 ・(故)豊福ユタカ(大島)  
 ・(故)寺尾仁希(池田)  
 ・(故)安藤勇次(陵厳寺)  
 ・(故)沖西ニワエ(大島)  
 ・(故)南和代(山田)  
 ・(故)田中生江(自由ヶ丘南)

【一般寄付】  
 ・吉良悦子  
 (令和5年2月28日受付分まで)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振込や現金書留等でも受け付けてきますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

●受講期間 令和5年4月～令和6年3月、各コース全35回程度  
 ●受講料 年間5000円  
 ●別途テキスト代200円程度必要  
 ●受付・問い合わせ先 同センター  
 ●「希望コース」「氏名」「住所」「年代」「連絡先」をお知らせください  
 (見学だけの場合は、その旨お伝えください。)